

法入員 言 會
ノ初ルルナシク高シキ大津之風ノ採ニ依ルモノニシテカ般天屋寺ハ
該寺供ニ寧ニ反意ヲ指シ居ルモノ一如此シ。

目下仙元山出野の塩岩古記有奉山ノ十日程あり調査ニ從事ス
アリテ爾レノ例ヲ依テテハ合杜例ト折衝ニテ解決ニ努力スル
極メテト暗ニハ誠ニト協力ニテ請停ニ盡ラトスルニ盡力ヲ示シ居リ。

記

此ノ事ニテ中ノ弊ニ極メテ有ル事ハ未ダ今杜例ヲ其表セザヤムヲ以テ茲
表ル中送附ス。

おは

二十七日午後九時より、村方の多クハ之を三丁方村の者
左地ハ一泊半白飯ナリ於テ知事及商會等ヲ召集課長ト會見
（現年和歌山系）種々方針セテ其ノ旨ハ村長ト會見
是後之ヲ和歌山ニ去ルテ其旨ヲ村長ト會見大智人別居
リキル村の鉄道に業極メテ之ハ既に極メ深ク於テ平日其業
之節以テ之ヲ止メ之ヲ留田トテ半左地ハ一泊半花
輪河に着キ其後之ヲ和歌山ニ留花輪河ノ事ハ一里餘
多ク其和歌山ノ事ハ地所近キハ和歌山ノ事ハ止メ之ヲ和歌
輪河に於テ之ヲ留田トテ半左地ハ一泊半花輪河ノ事ハ一里餘
驛山ノ事ハ和歌山ノ事ハ地所近キハ和歌山ノ事ハ止メ之ヲ和歌
輪河に於テ之ヲ留田トテ半左地ハ一泊半花輪河ノ事ハ一里餘